

## 小野晃典研究会に関するクチコミ

第7期生 松本 奈保子

私が「小野ゼミ」を購入してから早いもので2年が経過しました。コストは高くても品質の高い、つまりエグくても一生の財産になるようなものが得られるゼミを求めている私は、自分の所属するゼミについてジャパ〇ットたかたの社長のように熱く語る小野ゼミの先輩方に心を動かされ、「小野ゼミ」の購入を決意しました。

ゼミには主に能力向上機能と友情育成機能の2つが備わっていますが、「小野ゼミ」はその両方に関して最高の品質を有しています。まず、前者について。マーケティングに関する知識やプレゼン能力、資料作成の技法や論理的思考力など様々な力を得ることができましたが、最も大きいのは、困難に自ら挑戦し、最後までやり切る力を得たことだと思います。特に英語論文の執筆は、達成できそうもない目標は避け、ちまちまと小規模な生活を行っていた私を大きく変えました。英語の論文を読んだり、論理が破綻しないように慎重に仮説を構築したりと、結果に至るまでの過程は非常に大変なものでした。しかし、苦勞した分、無事に成果をあげたときの喜びと達成感は、今までの小規模な目標を達成したときとは比べ物にならない程大きなものでした。

次に後者についてのクチコミを。「小野ゼミ」の同期や先輩・後輩は非常にカラーバリエーションが豊富な個性派集団であったため、最初は上手くやっつけていけるのか不安もありました。ドヤ顔のゼミ長や歩くメガフォン、無口な應援部元部長に宴会部長など、これまで自分があまり接したことのない色を持つゼミ生たち。しかし、色は違えども、負けず嫌いで熱い(暑苦しい?)心の持ち主という基本的なデザインは同じであったためでしょうか。家族のように毎日顔を合わせてゼミ活動を行っているうちにかけがえのない仲間となっていました。趣味や性格の合う友人は数多くいますが、お互いに遠慮なく言い合いをするような友達は小野ゼミが初めてだと思います。私も「ただのオタクじゃん」と何度いじめられたか…(笑)

素晴らしいものを数多く与えてくれた「小野ゼミ」、これからもずっとヘビーユーザーであり続けたいと思います。



非常に良い笑顔の7期女子(著者は左端)



非常に良い笑顔の著者(左から2番目)